もいちど倶楽部 冬号
1994・12・25 Vol.7
編集・発行
東京都新宿区環境部
リサイクル推進課
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
TEL 3209-1111㈹
年4回(6月、9月、12月、3月)発行

高田馬場
駅からラクラクお買いもの！
新宿リサイクル活動センター2F・3F

もいちど倶楽部

もいちど倶楽部ご利用時間
時　間　10：00〜15：00
定休日　毎週金曜日・第3土曜日
でんわ　5330-5374（ごみさんゼロのごみなし）　FAX.5330-5371（ごみない）

出品するには

家庭内で使用しない衣類・雑貨品を整理してください。
衣類等は洗濯したものを……

もいちど倶楽部受付に電話し、出品日時を予約してください。
予約はお早めに！

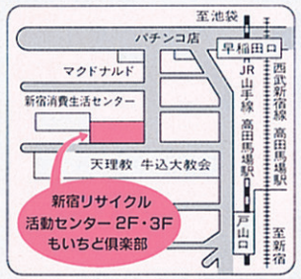
予約日時にリサイクル活動センター3階受付コーナーに出品物をお持ちください。

出品物にご自分で値札をつけていただきます。
1回につき20点まで出品できます。（うち衣類は10点を限度とします。）

4週間お預かりし、2階で展示・販売します。

精算日になりましたら、出品物預かり書を持って3階受付コーナーへおいでください。売却金と返品物をお渡しします。

「もいちど倶楽部」は、不用品を再利用することが主な目的です。
できるだけいたみの少ない品物を廉価で出品していただくようお願いします。
現在、予約は1ヶ月待ちぐらいです。



みなさん、ご存知ですか？「もいちど倶楽部」では、ご家庭で眠っている使用可能な生活用品（大型家具・高額品は目録出品）などを、みなさんからお預かりし展示・販売しています。

出品・展示の方法については、右「出品するには」をご覧のうえ、リサイクル活動センター三階「もいちど倶楽部」受付へお問い合わせください。なお、出品者は新宿区在住・在勤者に限らせていただきますのでご了承ください。

購入は、どなたでもできますので、お気軽にご利用ください。

今回ご紹介した品物は、11月10日に、実際に「もいちど倶楽部」で販売していたものですので、現在はお店にありません。でも、次々と新しい不用品？が「もいちど倶楽部」に出てきますので、ぜひ一度、のぞいてみてください。お待ちしております。

いろいろとりそろえております。
もいちど倶楽部で売っていた品物でコーディネートしてみました。

がくせい
セーター 400円
ハナエモリのスカート 1,000円
Finの靴 1,500円
マフラー 500円
バッグ 500円
ブレスレット 300円
熊のイヤリング 300円
計 4,500円

おつとめ
スーツ上下 500円
ブラウス 300円
バッグ 500円
バレッタ 50円
スカーフ 100円
イヤリング 200円
イブサンローランパンプス 2,000円
計 3,650円

おでかけ
フォーマルワンピース（ボレロ付き） 2,500円
イヤリング 200円
ベルベットバッグ 4,000円
ストール 1,000円
ネックレス 1,300円
ブレスレット 300円
エナメルパンプス 500円
計 9,800円

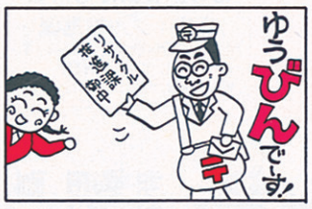
覆面座談会●リサイクル推進課の昼休み——

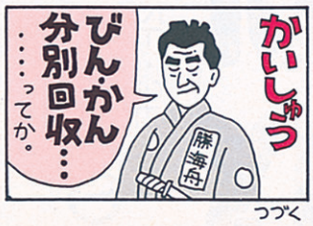
「あーあ、今年ももう終わりですね。ところで先輩は、今年は公私共に充実してたんじゃないですか。あちこち旅行も行って。」
「……。」
「どうしたの？また暗いんじゃない。」
「しこスつきフィルムってのアどこ行っても売ってますよね。」
「あの使い捨てカメラ？あれ今は回収して再利用してるんじゃないんですか。」
「あこの使い捨てカメラ？あれ今は回収して再利用してるんじゃないんですか。」
「ただその電池をまた新品に入れるわけにはいかないから捨てられてるんじゃないかな。」
「あのフィルムは使いきっても電池は、使い切ってないんですよ。」
「問題は電池なのよね。」
「再利用っていってもプラスチックの部分だけでしょ。それは評価できるとして、問題は電池なのよね。」
「ここをかなりこい、第メーカーで個べたんだけ本来の分類部分は長期生ごみすてしま、フラフラ日頃ってて再利用、フラフラ子フラ部分を活かして再生、そのままでもちろん廃棄物まるごと廃品に使用してるんだ。」
「一、やのまずなる。そこまでもちろん廃棄物まるごと廃品にしてるんだ。」
「だけど使いつけた廃棄物はまるごと廃品にしてるんだ。」
「使廃品ってもいいんですね。」
「廃品ボタンと廃品以外は廃棄物箱を使ってないから、あまり廃棄物がないってことで使えないごみ出ていってことになってますけど。」
「使えないごみということは廃品ってことよね。（購入品へ）。」

新宿リサイクル情報紙 すてないで 1994年12月25日発行

愛のエコロジー劇場

絵・ただすけ





つづく

クリスマスクイズ

すてないで

X MAS QUIZ!

Q. 今回特集した新宿リサイクル活動センター。不用品展示販売コーナーの名称は？

①もいちど倶楽部
②もちより倶楽部
③ナイトクラブ

はがきにクイズの答えと、住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見ご感想をお書きの上、リサイクル推進課までご応募ください。正解者の中から抽選で50名の方にリサイクルグッズ詰合せを差し上げます。〆切は1月7日（消印有効）。発表は発送をもってかえさせていただきます。

論奏

＝読者からの投稿です＝

我が家の近くでも『びん・かん分別回収』が始まった。青と黄色のプラスチックの入れ物が家からほんの3mぐらい離れたところに置かれることになった。「『びん・かん分別回収』ってどんなふうにやるのかな」と思っていた僕にとってあの箱はちょっと期待はずれであった。もっとカッコイイすごいものがくると思っていたのに。まあ仕方ないコストの問題もあるしな、と納得したのだが納得できないことがいくつかあるのでそれを発表したい。まずビンやカンを持って来る人達に言いたい。「たのむから夜遅くや朝早く持ってくるのはやめてくれ」と。事前に配布された案内チラシには「夜10時から朝6時までは持ってくるのをやめましょう」というようなことが書いてあったが、夜はもう少し遅く持ってくるひともいる。朝にいたっては『6時』というのはちょっと早いと思う。せめて7時にしてほしい。これを書いている今日もおばあさんがカンをボコン、ボコンとふみつぶしている音で目が覚めた。しかし分別回収も始まったばかりだからしかたないと思うが。もうひとつ、これは色々問題があってできないと思うのだが、箱を置いている場所にのぼりとか簡単な注意書きを置いてほしい。事前に説明会もあったし、チラシも配られているがやはり実際にビン・カンを出す時に見ることができる案内があったほうがベターだと思う。

などなどと文句を書いてきたが決してリサイクルが悪いといっているわけではない。ゴミが減るのもビンやカンをリサイクルするのも区民としていいことだと思う。ただこれからずっと分別回収やリサイクルというのはつづけていかなければいけないものだし、きっと僕のような感想を持っている人もいると思う。長く続けて運動を盛り上げていくためにはマナーも必要であると思う。よりよい分別回収、リサイクルをするためには、実際に行う区民のモラルの向上、そして行政側のよりよいバックアップをのぞみたい。新宿ももっときれいなまちになるはずだ。

（新宿区余丁町・T生）

世界のリサイクル事情 その7

分類することが大好きなオーストリアの人たち

松田美夜子
（リサイクル研究家）

ヨーロッパのリサイクル文化を訪ねて、1年ぶりにオーストリア、フランス、ドイツ、ベルギーを訪ねてきました。

オーストリアは初めての訪問ですが、この国も北欧やドイツと同じように徹底してごみを分別していることがわかりました。

住宅地やスーパーマーケットには、ごみ分別コンテナがズラリと並んでいます。

びん、缶、紙、ダンボール（紙箱）、焼却ごみ、金属類はもちろんのこと、プラスチック、堆肥にする生ごみ、庭木の枝葉類となんと9種類の分別はあたり前。

「ずいぶんきめ細かく分けているんですね」と私。市役所の環境部のラート氏は「オーストリア人は、細かく分類することが大好きなんです。もう1度何かに使えないかという気持を誰もが持っているので、どんどん分けてくれます」と、明るく答えます。みんな楽しんでごみを分けている様子が伝わってきます。スゴイと思いました。

滞在したホテルは古い格式のある石づくりの建物。部屋に入ると支配人からのメッセージカードがバスルームにありました。「タオルの交換をご希望の場合は、浴槽においてください。タオルを不必要に洗濯するとホテルではたくさんの水と石ケンをムダにして環境を汚染することになります」

ヨーロッパの環境保護先進国では、ホテルに泊っても、石ケンは紙でシンプルに包装されているだけです。歯ブラシとクシ、化粧品、ねまき類は旅人が持参。ホテルには用意してありません。トイレット・ペーパーやティシュ・ペーパーは全て再生紙100%のものです。

部屋の冷蔵庫を開けてまた驚きました。全てびんです。緑色のびんがほとんどです。オーストリアは、びんの規格を決め、色や型やサイズを統一して、ごみにならない商品設計がされているのです。

これで十分ではないでしょうか。

フリーマーケット情報

月日		場所	問い合わせ先
1月	☆8日	明治公園（日本青年館隣）	5228-3307
	○16日	新宿野村ビル	3226-6800
	○22日	新宿野村ビル	3226-6800
		代々木公園	
	○29日	中野駅北口公園	3226-6800
2月	☆5日	明治公園（日本青年館隣）	5228-3307
	○5日	新宿野村ビル	3226-6800
	○12日	代々木公園	3226-6800
	○19日	新宿野村ビル	3226-6800

○印は、リサイクル運動市民の会の主催
☆印は、日本リサイクル運動市民の会の主催
詳細は、上記問い合わせ先にお尋ねください。

「ごみ減量・リサイクル功労者表彰式」
&
「環境問題スペシャルトーク」
-愛は地球を救えますか-

・出演　後藤典弘（国立環境研究所社会環境システム部長）
　　飯島　愛（タレント）
・日時　1995年1月28日（土）
　　午後1時30分　開会
・場所　角筈区民ホール（西新宿4-33-7）
※手話通訳がつきます。
♡入場希望の方は往復はがきに「スペシャルトーク入場希望」と書き、入場希望者全員（2名まで）の郵便番号・住所・氏名と返信用宛て先を記入のうえ下記までお送り下さい。
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
新宿区リサイクル推進課
☆締切り　1月10日必着
※応募者多数の場合は抽選（区内在住者優先）

編集後記

前号の「廃油を使って手作りせっけん」の記事には多数の資料請求をいただき有り難うございました。なお、せっけんづくりの際、「苛生ソーダ」は劇薬の部類にはいりますので水と混ぜる時は少量ずつゆっくり入れてください。また皮膚や衣類についた場合は、すぐに水で洗い流して下さい。

すてき！古布や古着の再利用法

新宿リサイクル活動センターで、11月10、17、24日の3回にわたって行われた「パッチワーク講習会」にうかがいました。

受講者は、女性ばかりの33名。模様となる色合いをどうしようかと、まわりの人達と相談したり、みなさん楽しそうに作業をしていました。

番外 のりちゃんの得だネレポート

パッチワークのほかに、Tシャツ、古着を再利用し、編み込んだものも紹介されました。

パッチワークとは多数のハギレをつぎあわせ、ランチョンマットやこたつ掛けなどいろいろなものをつくることができます。